

AI、人型ロボなど中国新興産業の現在地と未来

日本のレストランでは人手不足を背景に、配膳ロボやメニューのスマホ注文が広く普及していますが、これらは中国ではコロナ禍の前から導入が進んでいました。いまや中国発のテクノロジーの動向を知ることは、世界の近未来を知ることになりつつあります。

この度、AI や人型ロボットが中国で活況を呈していることを踏まえ、中国の産業動向を長年にわたり研究されている東京大学社会科学研究所の丸川知雄教授をお招きし、標記講演会を開催します。

講演では、丸川教授が昨年、深圳と北京に半年滞在し研究された成果、そして今年4月に北京で開催された人型ロボットハーフマラソンを見てきた感想などを、丸川教授独自の分析を余すことなく語っていただく予定です。

今回はWEB開催です。奮ってご視聴いただきますようご案内申し上げます。

記

日 時：7月14日（火） 15：00～16：30

開催方法：Zoom オンライン

※アーカイブ配信期間：7月21日～28日

講 師：丸川 知雄 東京大学 社会科学研究所 教授

<プロフィール>

東京大学経済学部卒業後、アジア経済研究所研究員を経て、2001年に東京大学社会科学研究所助教授、2007年より現職。専門分野は中国経済。中国でのフィールドワークを基に研究。



講演予定：①現状報告

②背景分析 なぜ中国で誕生・急成長したか

人材、産業集積（半導体、機械要素など）、
産業政策の視点から分析

③未来の動向と課題

※事前に予告なく変更することがあります。

参 加 費：無料 ※（一社）東海日中貿易センター会員限定

※募集を終了しました。

お問合せ：（一社）東海日中貿易センター 業務グループ

TEL：（052）219-4820

（お知らせ）

お客様の個人情報については、当センターのプライバシーポリシー（<https://www.tokai-center.or.jp/privacypolicy>）に基づき、適正に管理させていただきます。